

# 会議結果報告書

令和8年5月25日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和8年5月22日（金）午後3時～5時
開催場所	志木市役所 大会議室3-1
出席委員	深瀬克委員、新田泰男委員、大木雄平委員、巾村和敏委員（計4人）
欠席委員	眞保昌弘委員（計1人）
説明員職氏名	生涯学習課 大久保主幹、野池主事補（計2人）
議題	(1) 会長及び職務代理者選任 (2) 令和7年度文化財保護関係事業報告について (3) 令和8年度文化財保護関係事業計画について (4) 補助金について
結果	(1) について審議した結果、承認された。 (2) について審議した結果、承認された。 (3) について審議した結果、承認された。 (4) について審議した結果、承認された。 (傍聴者0人)
事務局職員	生涯学習課 徳留課長、大久保主幹、石川主任、野池主事補
審議内容の記録（審議経過、結論等）	

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 議 事

(1) 会長及び職務代理者選任

会長に深瀬克委員、職務代理者に新田泰男委員が選出された。

(2) 令和7年度文化財保護関係事業報告について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委 員) 文化財の除草業務を複数か所実施しているが、実施にあたって優先順位をつけたのか。

事務局) 優先順位は設定しておらず、対象となる文化財について除草業務を実施した。

(3) 令和8年度文化財保護関係事業計画について

〈説明員〉

資料により説明。

〈質疑応答等〉

委 員) 新たに開館予定の志木市歴史館の位置づけはどのようなものか。

事務局) 教育委員会が管理運営を行う。

会 長) 志木市歴史館を開館するにあたって、多くの博物館で問題となっているいわゆる収蔵庫問題をどのように考えているか。

事務局) 現在、志木市立郷土資料館・埋蔵文化財保管センター・秋ヶ瀬スポーツセンター仮事務所に分散保管されている諸資料については、志木市歴史館の収蔵庫にすべて収まる見込みである。

会 長) 志木市歴史館以外の施設にも資料を保管する予定はあるか。

事務局) 志木市歴史館の収蔵庫に収まらない寸法の資料等、他施設での保管を現在検討中である。

委 員) 収蔵庫のキャパシティーをふまえて今後の資料寄贈を受け入れるべきである。場合によっては、寄贈の受入れに際しては資料の取捨選択も必要ではないか。取捨選択を行うための何らかの基準を設ける必要があると考える。

事務局) 寄贈の申し出があったすべての資料をそのまま受け入れるのではなく、寄贈希望の資料と市域の歴史との関連性を十分に精査した上で寄贈受け入れをしていきたいと考えている。

会 長) 個人によって所有されている文献史料の散逸が懸念される。市としては積極的に寄贈の推進と受け入れをしてほしい。

事務局) 了解した。

委 員) 文献史料の保存方法についてはどのように考えているか。

事務局) これまで一般の段ボール箱に保管されていた文献史料については、中性紙箱への移し替えを実施した。中性紙箱には防虫剤を封入して虫害を防いでいる。史料一点一点に史料番号を付して管理を行っている。

委 員) 例えば掛軸などの大型の史料についてはどのような保管方法を考えているか。

事務局) 現在、志木市立郷土資料館では桐製箆笥に大型の史料を保管している。志木市歴史館でも同様にこの保管方法を継続したいと考えている。

委 員) 新しく開館する志木市歴史館を、市内外にアピールするためのイベントを充実させてほしい。

事務局) 了解した。

委 員) 昨年度から実施している市内の絵馬調査は今後どのように進めていく予定か。

事務局) 市内にはこれまでの調査から漏れた未確認の絵馬の存在が想定される。一方で過去の調査では所在が確認されたはずの絵馬であっても、散逸している可能性がある。所蔵先を一軒ずつあたり、体系的な所在調査を行う予定である。

会 長) 市内の文化財をめぐる状況は大きく変化しつつある。文化財の散逸を防ぎ、次世代へしっかりと受け継いでいくためにも、文化財の所在確認調査について長期的な計画を策定してほしい。

事務局) 次世代への文化財の継承については、個別的な対応では不十分であると認識している。今後、長期的な目線で確認調査を実施していきたい。

#### (4) 補助金について

①文化財保存事業費補助金（羽根倉富士嶽）について

②文化財保存事業費補助金（田子山富士塚）について

③志木の田子山富士塚維持管理等補助金について

④志木市郷土芸能フェスティバル事業費補助金について

〈説明員〉

資料により説明

〈質疑応答等〉

委員) それぞれの補助金について、補助割合をどのように設定しているか。

事務局) 文化財保存事業費補助金(羽根倉富士嶽・田子山富士塚)は、補助団体の予算についてその半額を補助する。志木の田子山富士塚維持管理等補助金・志木市郷土芸能フェスティバル事業費補助金は、予め市によって確定された金額を全額補助する。

#### 4 報告事項

- ①古文書の所有状況調査について
- ②志木市立郷土資料館絵馬調査確認について
- ③志木市歴史館について
- ④「志木の田子山富士塚」保存活用計画について

#### 5 閉会